

3

・

11

によせて



model by BINGO

お正月に毎年恒例で行く広い公園にてパパと夕暮れの中楽しくお散歩した時の一枚です♪

僕

が小学5年生のとき、飼っていたウサギのウーパが死んだ。僕が中学2年生のとき、飼っていた犬のシロが死んだ。僕が高校1年生のとき、同じ中学だった同級生が車の事故で亡くなった。僕が高校2年生のとき、アルバイト先の友達がバイクの事故で亡くなった。

人も犬も必ず死があることはわかっているつもりだった。でもそれはわかっていたんじゃないかって知っていただけなのかもしれない。

僕が29歳のとき、母親が癌で亡くなった。母は痛さとつらさの巨大な塊と何度も何度も闘った。母は死の間際、どちらの世界が現実なのかもあやふやな状況で、僕はその日の夕飯を気にした。僕の目の前で亡くなる母親を見て、やっと少しだけ死がわかった。僕が34歳のとき、ウチに迎えた2頭目のフレンチブルドッグ、プリンが癌で亡くなった。プリンが死の間際、僕が戻ってくるのを待っていた。僕が戻ってくるのを待つという精神力のみで命を燃やし続けた。僕が戻り、プリンと目が合い抱いた瞬間にプリン

の火は消えた。僕の目の前で亡くなるプリンを見て、やっと少しだけ死がわかった。

そして、僕が36歳のとき、東日本大震災が起こり、2万人近くの人々が突然亡くなった。

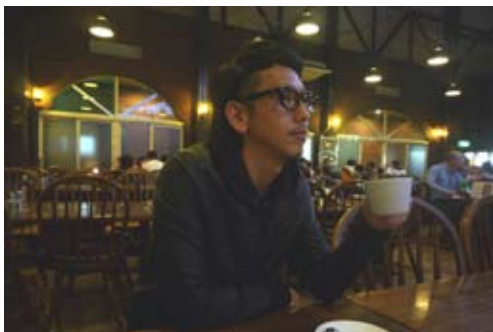
「自分の死を自分で決めることはできない」誰もがその事実を突然思い知らされた。

あれから1年。

ただそれでも。あれだけの事実を思い知らされても、現実、誰もが日々を生きたために精一杯で、その事実はどうしても遠ざかる。毎日毎日をこなすのは結構大変なことで、こなすだけで精一杯で、その事実は遠ざかる。それは全然悪いことじゃないし、当たり前のことかもしれない。ただそれでも。

「自分の死を自分で決めることはできない」その事実を知ることができた。知ることが出来ただから準備はできる。という準備はしなくちゃいけない。多くの人が準備しなくちゃいけないことなんて当たり前のように知っている。けど多くの人が準備しなくちゃいけないことを当たり前のようにわかっている。それは僕も同じで。

だから例えば、僕にできる準備



はつん

フレンチブルドッグ専門サイト「ZAIHOO (ザイホー)」代表。首までどっぷりフレンチブルドッグに浸かった36歳。現在は5プヒに囲まれながらフレンチライフの高みを目指す。ワイルドというよりはマイルドなタイプ。

多くの人が 準備しなくちゃいけないことを 当たり前のようにわかっていない。

文◎はつん

備を具体的に考えてみた。

まず自分が住んでいる静岡県富士市のHPをチェックして、地震や津波について調べてみた。自分の住む地区の海拔、近海の堤防の高さ、地震被害想定、高台までの距離と時間、避難場所、避難生活、地震に対する普段からの備えなど、気になることの大半はわかりやすく説明されていた。

昔からこのあたりは東海地震を想定した設備や訓練などを積み重ねていて、地震に対する意識の高い地域だと改めてわかった。そうなるなら、次はプヒちゃんたちをどうするかを考えた。ウチの場合、**今現在5頭のプヒちゃんがいる**。1頭や2頭でも大変なのに、5頭を連れて逃げるのは容易ではない。単純に考えても1頭を連れて逃げる5倍の時間がかかるわけだ。それでも近海の堤防の高さを調べたことで、**富士市にある堤防は17メートルという日本一の高さ**があることがわかった。

ということは状況次第では、もしかしたら避難する時間に多少の余裕があるのかもしれない。それならその可能性も考えて、

5倍の時間をどうやって短縮するか考えた。まず車をハイエースのバンに乗り換え、いざという時に5頭分のキャリーを余裕を持って積み込める状況を作り、車庫の横に頭数分のキャリーを常に配置しておくことにした。キャリーといっしょの場所には、首輪とリード、ドッグフード、水などの犬用品を1つのカゴにまとめて置いた。その状態から、**次は実際に5頭を連れて逃げるまでにどれだけ時間がかかるのか**計ってみた。車にキャリーなど犬用品を積み込むまでに約10分、5頭乗せるのに約20分の計30分かかった。

もちろん実際はその時の状況でかなり時間は変わってきてしまうだろうけど、それでも1つの目安として最短で5頭を30分で積み込めるとわかったことが大切だ。実際にその時がきた場合、津波が到達するまでの時間の情報が入るようなら状況の判断をしやすい。また状況によっては避難の際に連れて行けない場合だってある。

僕の場合、数年前に家をリフォームした際に、**犬専用の部屋を家の2階の1室に作った**。この

部屋は冷暖房の効きやすさと換気を第一に考え、4畳半くらいの広さで縦長の形にしてある。部屋内は2段重ねにしたケージを並べて、もし大きな地震でケージが倒れることがあっても、壁にぶつかり下にはまでは落ちない配置にしてある。さらに柵などが倒れてもケージにぶつかったり、ドアが開かなくなったりしないようにしてある。

もしものその時は僕が外出中で家にいない可能性だってありえるわけだから、普段から外出する際はケージに入れるくせをつけるのも大事な準備になる。

「自分の死を自分で決めることはできない」その事実を知ることができた。知ることではきたんだから準備はできる。というか準備はしなくちゃいけない。多くの人が準備しなくちゃいけないことなんて当たり前のように知っている。

だけど多くの人が準備しなくちゃいけないことを当たり前のようにわかっていない。